

## 障がい者雇用のノウハウ開発

「障がい者雇用のノウハウ開発」はクラレ財団より大原記念労働科学研究所へ委託している研究活動です。同研究所は、当社の初代社長である大原孫三郎によって1919年に設立された研究機関で、労働条件や労働環境の改善につながる研究を長年手掛けています。

この活動においてクラレ財団は、研究費の拠出とともに研究フィールドの提供を行っています。

### 「障がい者雇用のノウハウ」に関するマニュアルの作成

新潟・鹿島事業所で知的障がいを持つ社員の職場視察やヒヤリングを行いました。その分析結果と好事例を元に、健康に配慮した職場環境や、やりがいのある職場づくりの参考となるマニュアルを作成しました。

まずはクラレの他の事業所で活用してもらい、見直しを加えてクラレ以外にも広く展開しています。



#### 業務視察

細かい作業をしている頻度、立ちっぱなし・座りっぱなしの作業時間など、心身に負担がないかを観察し結果を分析。



#### 他社へのヒヤリング

他社の障がい者雇用に関する好事例をヒヤリング。職場環境改善のポイントをまとめた。



よりよい  
職場環境に  
ついて考える  
マニュアル  
を作成！

### この研究をきっかけに職場の課題を考える

鹿島事業所の知的障がい者作業所「あおぞらワークス」では、この研究をきっかけに社員と指導員が職場環境について語らいの場をもちました。「仲間の仕事ぶりを見る中で、自分の目標ができてモチベーションが上がった」「給料の使い方について、楽しい会話をした」など、公私にわたってこれまで言えなかった気持ちを活発に共有する姿に接することができました。



©社内報クラレタイムスより一部抜粋